



A bridge of dream



株式会社かごしまんま代表

やました りえ
山下 理江 さん

平成23年の東日本大震災が転機でした。当時、私は千葉県に住んでいましたが、震災の影響で様々な食品の流通が止まるなど、食に関して影響を受けました。幸い両親が定年退職後に、出身地である串良町にUターンしていたこともあり、ダンボールに九州の食材をたくさん詰めて郵送してくれました。不安な日々を送っていたため、涙が出るほどうれしかったことを覚えています。同時に、私と同じような人のために何かできること

はないかと考えるようになり、串良町に移住。添加物・農薬がなるべく入っていない九州産の食材をダンボールに詰めて全国の家庭に届ける通販事業を開始しました。事業を進めていくうちに、お客さんから「九州産の小豆はないですか」と要望を受けることがありました。小豆の大半は北海道産ですが、実は鹿屋でも自家消費として在来種の小豆が農家の間で受け継がれています。この在来種の小豆は極小粒で、小豆本来の味が

しつかりしていてどこか懐かしい気持ちにさせてくれます。これを何とか復活させるべく「小豆計画」を開始。生産者に種を無償提供し、極力農薬等を使わずに作っていただき全量買い取りを行っていただきます。当初は在来種ではない「丹波大納言」の生産にもチャレンジしましたが、結果は惨敗。鹿屋の土地に根付いた在来種の方が風水害にも強く、地の農作物の強さを改めて認識できました。

在来種の小豆は品種名もないため「かのや姫小豆」としてブランドイングを行い、粒あんや小豆茶に加工するなどして販売。元々は九州産の食材を全国にお届けすることが目的でしたが、鹿屋で脈々と受け継がれてきた小豆を復活させ、多くの人に提供できることをうれしく思っています。これからもかのや姫小豆を全国にお届けすることで、鹿屋にも小豆があるんだということを知ってもらい、鹿屋の地域経済に貢献できるように頑張ります。

information

千葉県野田市出身。大学では畜産学を専攻。移住前は建設会社に勤務しており、2級建築士の資格を持つ。資格マニアな側面があり、1級小型船舶操縦免許なども持っているが実際はパーパードライバーとのこと。現在は中国語を勉強中。



▲かごしまんまホームページ



小豆計画
KANOYA
AZUKI PROJECT



【右】かのや姫小豆の粒あん。通販のほか鹿屋市観光物産総合センターやどっ菜市場などでも購入することができます。

【左】在来種はその土地の土壌・気候に適応して生き抜いてきたため、品種改良種と比較して小豆本来の濃くて豊かな風味が特徴。